

# 西小だより

☆学校教育目標

○やさしく ○かしこく ○たくましく

市原市立辰巳台西小学校

令和2年6月19日 第4号



6月から全員登校し、1日に始業式を行い令和2年度がスタートしました。9日の入学式までは、午前中授業を行った後に下校でしたが、10日から待ちに待った給食が始まりました。班にして食べることはないのが残念ですが、少しずつ本来の形に戻ってきています。

感染者数が増加している地域もあります。ワクチンが開発されるまでは「コロナウイルス」と上手につきあっていかなければいけないと思います。学校でも始業式後に感染症予防の観点からの『手洗い』とコロナによる『いじめ防止』の話をしました。ご家庭でも子どもたちと今後の生活様式についてお話をしていただけると助かります。

## 手洗いの6つのタイミング



手洗いをこまめに行うため、ハンカチがすぐにビショビショになってしまう児童もいます。また、ランドセルに入れているという児童もいますので、必ずポケットに入れてすぐに取り出せるようにしてください。

一部抜粋

…

## <家庭教育支援コーナー>

今回は、茨城県教育委員会の家庭教育応援ナビ「すくすく育ていばらきっ子」からです。いくつかあるサイトの中の『家庭教育コラム』から紹介します。このコラムは、子どもの発達段階に応じて、子育てに役立つことや家庭教育についてのアドバイスを各分野において活躍されている方々からのメッセージが掲載されています。その中から、「小学校4～6年の子をもつ保護者の皆様へ」ということで“開善塾教育相談研究所所長 藤崎 育子 氏”のコラムを載せます。

### 「自分のことを自分でできる子どもに！ ～長期休校を利用して～」

新型コロナウイルス感染防止策で、全国各地で休校となりました。連日マスコミが保護者や子ども、そして学校の先生の不安や、不満を取り上げています。

突然決定されたことであり、様々な課題があることは事実ですが、これをチャンスと捉えて、家庭での子どもの日常を変えてみるのはいかがでしょうか？

不登校やひきこもりの青少年の家庭に出向き、訪問相談という仕事をしていると、各家庭の様子を見ることが出来ます。不登校・ひきこもりと言っても、それぞれ事情があり、百人百様です。が、学校や社会への復帰を遂げた後に直面するハードルは、心理的なことというより、生活習慣

からくる問題の方が大きいように思います。例えば、朝起きられないことで、せっかく合格した学校や、採用された職場をやめてしまうというケースが少なくないのです。

まずは、子どもが自分の力で朝起きる習慣づくりを目指してみませんか。

親御さんから話を聴いていると、高校生になっても、子どもがなかなか起きないので毎朝のように言い争いになってしまうという話は少なくありません。朝から親子共に不機嫌になることは誰の得にもなりません。子どもが自分で選んで目覚まし時計を準備するといったことでもいいでしょう。まずは親子で話し合っ、何時にどう起きるか決めるのです。うまくいかない場合は、一度声をかけるという約束をしたりすることもよいでしょう。その時は、命令調でなく、「7時よ」と時刻を明るい声で告げてみましょう。食事の時は、自分でご飯をよそう、パンを焼くといった食卓の準備を子どもが自然にできるようになるかが重要です。

ひきこもる青少年に多く見られる共通点として、食事時に自分のご飯や味噌汁をよそわず、食後の片付けもしたことがないということがあげられます。洗濯機も使ったことがなく、ごみを出したこともない。やかんでお湯を沸かしたことがない子もいます。

子どもの頃から、ご飯をどのくらい食べたいか自分で考え、自らお茶碗によそわせる。それには親が子どもに教えることが必要です。一見簡単そうに見えることでも、まず親が手本を見せ、実際にその場で子どもにさせてみるのです。親が機嫌よく、教えていけば、子どもも失敗を繰り返しながら、できるようになっていきます。

ひきこもり青少年ですが、そうじ、洗濯など、自分のことを自分でできるようになると、だんだんしっかりしてきます。特に火や刃物を使った料理ができるようになり、仲間と食卓を囲み、人から美味しい！と褒められる経験を重ねると学校や社会へ戻ろうとする意欲が湧いてくるようです。私たちの所では料理の仕方やそうじなど様々なことを教え、寝食を共にする合宿を行っています。

将来子どもが何かに挫折し、意欲を失ってしまうようなことがあるかもしれません。あるいは大きな災害が起こり、それを乗り越えなければならない可能性もあるでしょう。子どもの頃から、家の手伝いをたくさんした子ほど、生きる力が備わります。日常の様々なことに気が付き、自分で考え、工夫できるようになった子どもは、たとえ親がいなくなったとしても立派に生きていてくれるでしょう。今回の休校を機会に、日々の子育てを見直し、家のお手伝いをたくさんさせてみませんか！そして自分のことは自分でできるような子に育ててみませんか？